# 肉親を亡くして❶

親を失った子、子を失った親の悲しみは、本人だけでなく、その様子を目にした人の心にも深く刻まれました。穏やかな筆致で淡々と描かれた情景から、かけがえのない命を理不尽に奪われたことに対する、やり場のない悲しみと怒りが伝わってきます。

## 白骨になった父母と姉を見つける

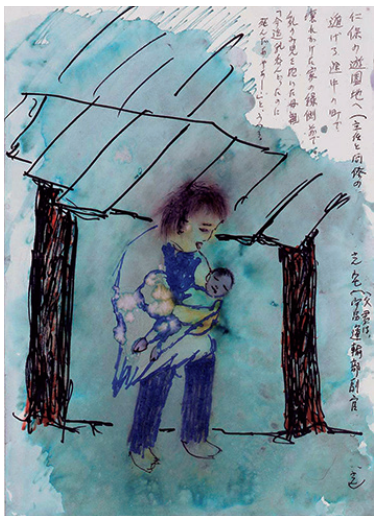
❶河内政子　❷16→73　❸8/10　❹堺町一丁目

父は玄関で腰かけたまま、姉は台所で座ったまま白骨になっていた。母は炊事場で頭から腰のあたりまで黒こげに腰から下は白骨になり、足の上に包丁の刃がのっていた。

## お母ちゃんは死んでいるのよ

❶瀬川きくの　❷37→66　❸8/7　❹比治山橋

母親らしい婦人が大きなお腹をして死んでいるそばで3才位の女の子が缶詰の空缶に水を汲んで来て母親の口元に当てがう。子供のいじらしい姿に私は思わず女の子を抱きよせてお母ちゃんは死んでいるのよと共に泣きました。



## 息を引き取った赤ん坊を抱く母

❶中津久子　❷26→83　❸－　❹仁保

壊れかけた家の縁側前で乳のみ児を抱いた母親「今まで乳飲んどったのに死んだあやあ！」と、うつろ。

## さあ、家に帰ろう

❶西岡誠吾　❷13→83　❸8/9　❹中島町

ある父親は、涙を流しながら、変わり果てた息子の亡がらを菰に包み、背負って歩いて帰られました。
「どんなに熱かったろう。どんなに痛かったろう。どんなにか苦しかったろう。お父さんと帰ろう。家に帰ろう。」